

呼ルーティング規則機能の設定

目次

[概要](#)

[SPA9000 で使用する VoIP アカウントを選択してコールを発信するにはどうしたらよいですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

[Q. SPA9000 で使用する VoIP アカウントを選択してコールを発信するにはどうしたらよいですか。](#)

A.

この記事では、発信コールを行うときに SPA9000 に登録された VoIP アカウントから選択する方法を示します。

SPA9000 の登録

ステップ 1 :

SPA9000 の Web ベース セットアップ ページにアクセスします。手順については [ここ](#) をクリックしてください。

ステップ 2 :

[Admin Login] をクリックし、次に [advanced] をクリックします。

ステップ 3 :

[Voice] をクリックしてから [Line 1] をクリックします。

ステップ 4 :

[Subscriber Information] の [User ID] と [Password] を入力します。

ステップ 5 :

[Proxy and Registration] の [Proxy] フィールドにプロキシの設定を入力します。

ステップ 6 :

をクリックします。 .

ステップ 7 :

[SIP] をクリックし、[PBX Parameters] を探します。

IP フォンまたは ATA デバイスが SPA9000 の WAN 側にある場合、[Proxy Network Interface] に [WAN] を設定します。

IP フォンまたは ATA デバイスが SPA9000 の LAN 側にある場合、[Proxy Network Interface] に [LAN] を設定します。

コール ルーティング ルールの作成

ステップ 1 :

[SIP] をクリックし、[PBX Parameters] セクションに移動し、[Call Routing Rule] を探します。デフォルトでは、このフィールドの値は (<:L1,2,3,4>9xx.) です。このコール ルーティング ルールは、9 がダイヤルされると、そのコールは SPA9000 で使用できる任意の回線にルーティングされることを意味します。

注: 発信コールは回線 1 から開始します。回線 1 が既にコールで使われている場合、次のコールは回線 2 にかかります。各 [line] タブの [Dial Plan] は (<9:>xx.) のように設定する必要があります。[Dial Plan] を確認するには、[Line 1] タブをクリックします。

コール ルーティング ルールの例 :

コール ルーティング ルールの例と、各 [line] タブの [Dial Plan] の設定例を示します。

コール ルーティング ルール : ((<:L1>9xx.|<:L2>8xx.|<:L3>7xx.|<:L4>6xx.)。内線番号を使用し、9 をダイヤルすると、コールは回線 1 につながります。8 をダイヤルすると、コールは回線 2 につながります。7 をダイヤルすると、コールは回線 3 につながります。そして 6 をダイヤルすると、コールは回線 4 につながります。次の図は、各 [Line] タブで [Dial Plan] をどのように設定すればよいかを示しています。

回線 1 :

Line 2:

Line 3:

Line 4:

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)